

## 7月15日(土) 愛知サマーセミナー3限 初めての持ち講座は、受講者ゼロでトホホ...!?

外山 孝司

CAN事務局の山本さんから愛知サマーセミナーでCANとして連続講座を持たないかという提案が月例の事務局会議であり、即やりましょうということになりました。場所は同朋高校のA号館2階学習室2。7月15日(土)の1限~4限を通して確保し、それぞれで自分の講座の準備をして、当日に臨みました。

当日は同朋高校に行くのは初めてで、まずどうやって行けばよいのかから始まりました。サマセミ当日はマイカーお断りなので、地下鉄東山線で中村公園下車、そこから市バスで鴨付町まで行く...なるほど、そうか。

中村公園の市バス乗場でそれらしき人たちの列に並ぶと、前に顔見知りの夫婦がいます。声を掛けると、アムネスティ・インターナショナル「わや」グループの久富さん夫婦。そういえば、久富さんは毎年愛知サマセミで人権問題の講座を持っていると言っていました。これで久富さんの後ろに付いていけばイインだと心強くなりました。

会場の同朋高校に着いてみると、参加者であふれていてびっくり。CANが連続講座を持ったA号館2階学習室は、視聴覚機器等の設備もしっかりしていて、私たちが高校生だった時代のイメージとはまるで違うのにびっくりしました。

廊下を歩いていると、何故か顔見知り人に多く遭って、声を掛けられたりするので、アレっと思いましたが、そういえば私がコープあいちに勤務している頃、中村区を含む西部地区の本部長をしていたことがあり、コープあいちの組合員のみなさんと一緒にいろいろな活動したことがあったことを思い出しました。

と、これでページの半分までできました。なかなか本題の私が持った講座の話にならないのですが、

そろそろ本題に入らなくてははいけませんね。

さてっと、私が持った講座のテーマは『若者、高齢者に多い消費者被害の対処法』。テーマから受けるイメージが硬かったのか、受講者は何とゼロ。顔見知りの人には前宣伝もしたのですが、4限ある講座の中でも3限目が一番競合が厳しいようで、声を掛けた人のほとんどが、私も3限目に口座を持っているというような返事でした。と責任を転嫁するつもりは毛頭ありませんが。結局集まったのはCANの関係者が3名。それも幸いというか全員60過ぎのメンバーでしたので、高齢者に多い消費者被害に絞って、「NTTの新サービスだと思いついて契約した光回線解約」、「解約したい屋根工事」、「訪問買取りの業者に売った貴金属」、「ワンクリック登録されてしまったサイト料金」など、私自身や私の周りの人の実際の体験談も交えて事例紹介をしました。また質疑の時間もたっぷり取って、内容の濃い講義を行うことができました。

最後に来年はどうかですが、今年の経験も踏まえ、ぐっとゆるいテーマ、例えば「SP(78回転)盤鑑賞会 — SP盤レコードでJAZZを聴いてみよう! (ビリー・ホリデイ、チャーリー・パーカー、レイ・アームストロング etc.)」みたいな講座を持ってみたいと考えています。